

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-139988

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)7月24日

F 16 L 19/08

7244-3H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全8頁)

⑮ 発明の名称 管継手

⑯ 特 願 昭58-245057

⑰ 出 願 昭58(1983)12月28日

⑱ 発 明 者 佐々木 昭 東京都新宿区西新宿7丁目15番1号 柏ビル内 有限会社  
イー・ティー・イー内

⑲ 出 願 人 有限会社イー・ティ 東京都新宿区西新宿7丁目15番1号 柏ビル内  
ー・イー

⑳ 代 理 人 弁理士 大 森 泉

明 細 書

1. 発明の名称

管継手

2. 特許請求の範囲

1) 中空状の継手本体と、この継手本体の外周部に形成された雄ねじ部と、この雄ねじ部に螺合されるナットと、このナットの内部に収容された環状体と、この環状体の先端部に形成された縦断面がくさび状をなすくさび状部とを有してなり、前記ナットが締め付けられると、該ナットとともに前記環状体が移動しようとして、前記くさび状部が前記継手本体と前記管の外周部との間に食い込む管継手において、前記環状体に、該環状体に対して少なくとも軸方向かつ前記継手本体から遠ざかる向きには移動不能なように、前記くさび状部とは別個の突起を設けるとともに、この突起を前記管の外周部に、該管が前記環状体に対して少なくとも軸方向かつ前記継手本体から遠ざかる向きには移動不能となるように係合することを特徴とする管継手。

2) 環状体をナットと別体とした特許請求の範囲第1項記載の管継手。

3) 環状体をナットと一体とした特許請求の範囲第1項記載の管継手。

4) 突起を環状体と一体とした特許請求の範囲第2項または第3項記載の管継手。

5) 環状体の内周側に抜け止め部材を、該環状体に対して軸方向かつ継手本体から遠ざかる向きには移動不能に嵌合し、この抜け止め材の内周部に突起を一体に設けた特許請求の範囲第2項または第3項記載の管継手。

6) 突起を、管の外周部に設けられた溝に嵌合する特許請求の範囲第2項または第3項記載の管継手。

7) 突起を、溝を設けられていない管の外周部に食い込ませる特許請求の範囲第2項または第3項記載の管継手。

3. 発明の詳細な説明

(技術分野)

本発明は、管継手に係り、特にフッ化水素酸等

とができるという優れた効果を得られるものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の管継手を示す半断面図、第2図は前記従来の管継手において管が環状体から半ば抜けかけている状態を示す断面図、第3図は他の従来の管継手を示す半断面図、第4図は該従来の管継手の一部を示す拡大断面図、第5図は本発明による管継手の一実施例を示す半断面図、第6図は該実施例の要部を示す拡大断面図、第7図および第8図は環状体の突起および管の溝の形状の他の実施例を示す断面図、第9図は本発明による管継手の他の実施例を示す半断面図、第10図は該実施例の要部を示す拡大断面図、第11図は本発明による管継手のさらに他の実施例を示す半断面図、第12図は該実施例の要部を示す拡大断面図である。

9…管、9a…溝、10…環状体、10a…突起、10b…くさび状部、11…継手本体、13…ナット、14…抜け止め材、14a…突起、1

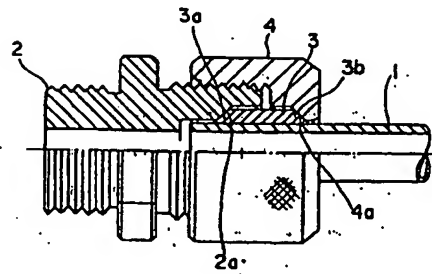
5…管、16…継手本体、18…ナット、19…環状体、19a…くさび状部、19b…突起。

特許出願人 有限会社 イー・ディー・イー  
代理人 弁理士 大 森 泉

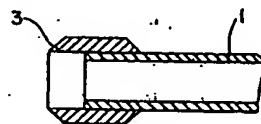
F16L 19/08

- 19 -

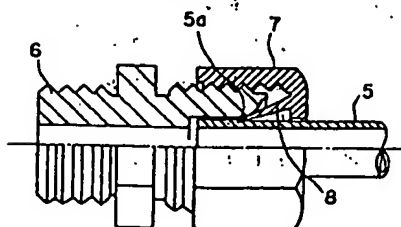
第1図



第2図

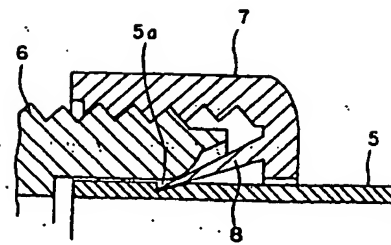


第3図

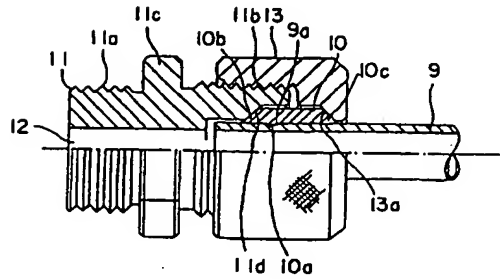


- 20 -

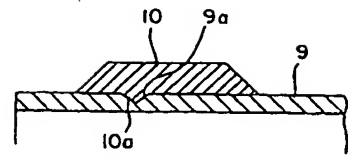
第4図



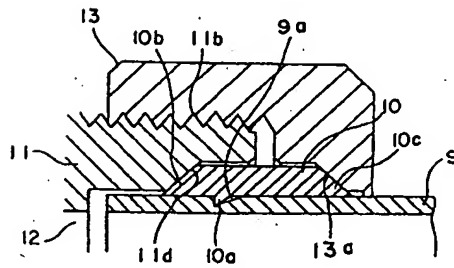
第 5 図



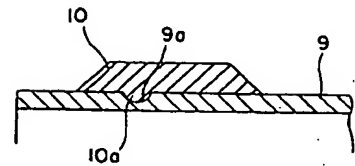
第 7 図



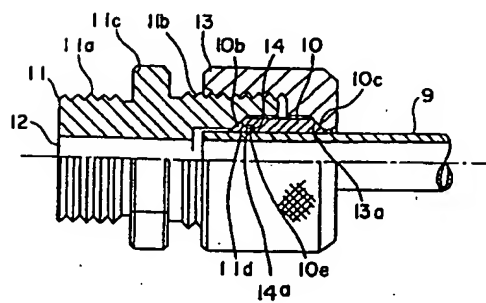
第 6 図



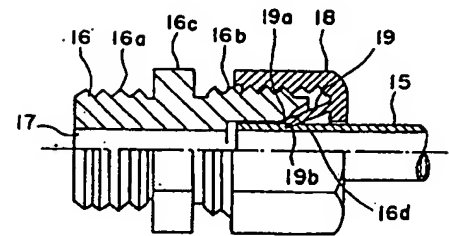
第 8 図



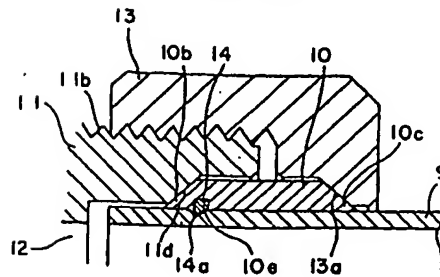
第 9 図



第 11 図



第 10 図



第 12 図

